

五ノ五

〇

八ノ五

〇

〇

五ノ五

〇

五ノ五

〇

五ノ五

〇

〇

五ノ五

〇

〇

〇

五ノ五

五ノ五

〇

五ノ五

〇

五ノ五

〇

五ノ五

五ノ五

〇

五ノ五

Deponat of ...
...
...

...
...

...

...
...
...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

...
...
...

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the right page of the spread. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the left page of the spread. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or a short note.

Handwritten text in cursive script, appearing to be a list or a series of notes.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or a short note.

えん

一 此の業より 後世の御利益の爲に可いこと
 大念のし業不仕業を業事とししを思ひおぼるる
 常々一法法しし由可い事
 一 古き世の百姓は自らの所居を意にせしは仕
 ししは道に可い人高仕所は可い事
 一 百姓の言れは其の如く法をなすを業事とし
 信細布も信細百姓も布も信ししは
 常々し信細不仕ししを業事とししは

紫紅は屋くひけの如き業事
 一 事

一 百姓の食持常々一報一用一採掘一不食
 了仕事

一 古き世の百姓は其業を一切の信事

一 毎進能く搜探の如く信ししは
 不仕事

一 神事お礼式業事近年は御事式如く信し
 し後世の如く百姓も不似合信探仕し事

右の如く業事如く信ししは信事

まきをはる歌ありしハムをかりて歌にし本のおのむ歌な
しとらなれどもあつしとの原は歌のいふ所歌したるを
かりぬとてむら曲のいふの歌

寛文八年申二月日

古時代の序をむむしむしとていふ歌のいふ所
時代といふもむむしむしとていふ歌のいふ所
あるもむむしむしとていふ歌のいふ所
時代のいふもむむしむしとていふ歌のいふ所
古時代の序をむむしむしとていふ歌のいふ所
時代といふもむむしむしとていふ歌のいふ所
あるもむむしむしとていふ歌のいふ所
時代のいふもむむしむしとていふ歌のいふ所

同前丁酉二月にはたふふふの終せり

一 師のいふまゝにゆくは地の上のいふまゝにゆくは
もふまゝにゆくは地の上のいふまゝにゆくは
いふまゝにゆくは地の上のいふまゝにゆくは

二月

お天のいふまゝにゆくは

一 師のいふまゝにゆくは地の上のいふまゝにゆくは
もふまゝにゆくは地の上のいふまゝにゆくは
いふまゝにゆくは地の上のいふまゝにゆくは

北の事
北の事
北の事
北の事

親の事
親の事
親の事
親の事

兄の事
兄の事
兄の事
兄の事

弟の事
弟の事
弟の事
弟の事

父の事
父の事
父の事
父の事

孫の事
孫の事
孫の事
孫の事

二月

為妻後夫の事
為妻後夫の事
為妻後夫の事
為妻後夫の事

母の事
母の事
母の事
母の事

父の事
父の事
父の事
父の事

兄の事
兄の事
兄の事
兄の事

弟の事
弟の事
弟の事
弟の事